

平成16年3月期 第1四半期業績の概況（連結）

平成15年8月12日

上場会社名 呉羽化学工業株式会社

（コード番号：4023 東・大 各1部）

（URL <http://www.kureha.co.jp>）

代表者 代表取締役社長 田中 宏

（TEL：(03) - 3249 - 4651）

問合せ先責任者 広報部長 竹田 裕

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度における : 無
認識の方法との相違の有無

2. 平成16年3月期第1四半期の業績概況（平成15年4月1日 ~ 平成15年6月30日）

(1) 売上高 (注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。

	連結		(参考) 個別	
	百万円	%	百万円	%
16年3月期第1四半期	29,220	7.9	19,153	14.9
15年3月期第1四半期	27,083	-	16,670	-
(参考) 15年3月期	137,647		84,036	

(注) 売上高は、当該四半期までの累計値であります。

パーセント表示は、前年同四半期比増減率を示しております。

セグメント別連結売上高

	16年3月期第1四半期	15年3月期第1四半期
	百万円	百万円
機能製品事業	6,441	7,028
化学製品事業	7,472	7,011
樹脂製品事業	11,410	9,797
その他事業	3,895	3,246
全社計	29,220	27,083

[売上高に関する補足説明]

当第1四半期の売上高は、連結で292億円（前年同期比21億円増 +7.9%）、個別で191億円（前年同期比24億円増 +14.9%）となりました。

セグメント別連結売上高の状況は、以下のとおりであります。

機能製品事業は、昨年度に行いました事業再構築の一環であるプラスチック添加剤事業からの撤退の影響（約15億円）がありましたが、PPS樹脂、ふっ化ビニリデン樹脂等の高機能樹脂製品の半導体等電気・電子素材用途および球状活性炭の輸出が引き続き好調であったため微減にとどまりました。（前年同期比5億円減 8.3%）

化学製品事業は、塩化ビニル樹脂事業の営業権譲渡による影響がありましたが、パラジクロルベンゼン等の拡販および農業用殺菌剤「メトコナゾール」、慢性腎不全用剤「クレメジン」の増加により売上は増加いたしました。（前年同期比4億円増 +6.6%）

樹脂製品事業は、コンシューマー・グッズ分野の家庭用食品包装材「NEWクレラップ」が順調に推移しており、またハイバリアーラミネート基材「ベセーラ」、中国向けの塩化ビニリデン・コンパウンドおよび包装機械の拡販により売上げは大幅に増加いたしました。（前年同期比16億円増+16.5%）

その他事業は、環境関連分野での環境修復作業および医療廃棄物の受注増加により、また、建設関連分野での建築工事の完成工事高の増加により売上げは増加いたしました。（前年同期比6億円増+20.0%）

（2）当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当事項はありません。

3. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	円	銭
中間期	66,000	3,200	1,500	7	73
通期	143,000	9,000	4,000	20	62

[業績予想に関する定性的情報等]

平成15年5月14日発表の連結業績予想を修正しておりません。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上